

5.1 建築デザイン分野

幅広い建築計画理論と美的素養を基に、建築の企画・計画の流れを把握し、建築・都市という実体にまとめ上げ、デザインする能力を有する建築家・建築設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等								
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D									
外国語科目	英語1 → 英語2 → 英語3 → 英語4																必修 8単位								
基礎科目	数学1 ↓ 数学2 ↓ 物理1 → 物理2 ↓ イタリア語・イタリア文化 → 中国語・中国文化 ↓ 文化と文明				↓ 技術者倫理 → 環境とエネルギー												必修 6単位								
専門科目 学部科目	↓ デザイン文化論				↓ 建築と文化 ↓ アーバンイズム				↓ Design Basics in English ↓ 風土と建築																
専門科目 学科基礎科目	↓ 導入ゼミナール(建築) ↓ 建築入門 ↓ デザインスタジオ1(建築) → デザインスタジオ2(建築) ↓ 造形スタジオ				↓ デザイン理論(建築) ↓ 建築計画1 ↓ デザインスタジオ3 ↓ 建築のしくみ				↓ 西洋建築史 ↓ 建築の空間と形態 ↓ 建築計画2 ↓ デザインスタジオ4 ↓ 構法スタジオ				↓ フィールドワーク(建築) ↓ 日本建築史 ↓ 都市史 ↓ 近現代建築史 ↓ 建築論・建築造形論 ↓ デザインスタジオ5 ↓ インターンシップ(建築)				↓ 都市史 ↓ 近現代建築史 ↓ 建築フォーラム ↓ デザインスタジオ6 ↓ デジタルスタジオ				↓ 卒業研究1(建築) → 卒業研究2(建築) ↓ 卒業設計1 → 卒業設計2 ↓ デザインスタジオ7				必修 30単位
専門科目 学科科目					↓ 骨組の力学 ↓ 建築気候 ↓ 空気調和設備				↓ 空間の構造デザイン ↓ 不造建築の構法 ↓ 建築生産 ↓ 建築法規(建築)								選択科目 28単位以上								
単位数合計	41				41				35				11				128								

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築デザイン分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したものではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.3 環境工学・建築設備分野

環境工学・建築設備の基礎知識を基に、環境保全に配慮しながら、人の安全と快適、衛生・健康を確保するために最適な環境設備システムの選択と設計を行うことができる設備設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基盤科目	数学1	数学2	数学演習1	数学演習2	物理学1	物理学2	法学(日本国憲法)	技術者倫理	環境とエネルギー								必修 6単位
専門科目 学部科目	イタリア語・イタリア文化	中国語・中国文化	デザイン文化論	Design Basics in English	風土と建築	環境工学	サステイナブルデザイン	開発と国際協力	英語表現技術								
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	部材の力学	骨組の力学	材料の力学	建築材料	建築のしくみ	構法スタジオ	西洋建築史	日本建築史	建築法規(建築)	木造建築の構法	建築フォーラム	環境生態学			必修 30単位
専門科目 学科科目	デザインスタジオ1(建築)	デザインスタジオ2(建築)	建築計画1	デザインスタジオ3	デザインスタジオ4	建築生理心理1	建築生理心理2	音・振動環境	光・視環境	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)						選択科目 28単位 以上
専門科目 学科科目	造形スタジオ	図形の技術	建築計画2	建築生理心理1	建築生理心理2	建築気候	建築設備	設備デザイン基礎	建築設備総合デザイン	卒業設計1	卒業設計2						必修 8単位
単位数合計	40				41				37				10				128

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 環境分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほか、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したのではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.4 建築構造分野

巨大な重力に常時耐え、地震や台風など過酷な非常時にも安全堅牢な建物を科学と技術と叡智により合理的かつ美しく設計することのできる建築構造技術者・デザイナーを目指す。

	1年				2年				3年				4年				必修等								
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D									
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位								
基盤科目	数学1	数学2	物理1	法学(日本国憲法)	イタリヤ語・イタリヤ文化	数理演習1	数理演習2	物理2	開発と国際協力	中国語・中国文化	文化と文明	環境とエネルギー	技術者倫理				必修 6単位								
専門科目 学部科目									建築と文化	サステナブルデザイン															
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	デザインスタジオ1(建築)	造形スタジオ	デザインスタジオ2(建築)	部材の力学	材料の力学	骨組の力学	平面の力学	空気調和設備	建築材料	建築のしくみ	建築計画1	建築計画2	デザインスタジオ3	デザインスタジオ4	西洋建築史	必修 30単位							
専門科目 学科科目										構造とマトリクス	構造計算 プログラミング	材料特性実験	鋼のデザイン	木造建築の構法	建築の地盤力学	鉄筋コンクリートのデザイン	空間の構造デザイン	日本建築史	近現代建築史	卒業 研究1 (建築)	卒業 研究2 (建築)	卒業 設計1	卒業 設計2	専門科目 学科科目 選択28 単位以上	必修 8単位
単位数合計	41				39				37				8				125								

 : 学科必修科目
 : 資格認定必須科目
 : 建築構造推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほか、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したものではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ

各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標					
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協調的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する	
外国語科目	1	英語 1						○
	1	英語 2						○
	1	英語 3						○
	1	英語 4						○
	1~4	英語 1 (補講)						○
	1~4	英語 2 (補講)						○
	1~4	英語 3 (補講)						○
基盤科目	経営系	1~4	財務会計	○				
		1~4	マーケティング	○				
		1~4	国際社会論	○				
		1~4	エコノミクス	○				
	法律系	1~4	法学 (日本国憲法)	○				
		1~4	法と現代社会	○				
		1~4	知的財産権	○				
		2~4	技術者倫理	○				
		1~4	開発と国際協力	○				
		1~4	文化と文明	○				
	人文系	1~4	認知科学	○				
		1~4	イタリア語・イタリア文化	○				○
		1~4	中国語・中国文化	○				○
		1~4	環境とエネルギー	○				
		工学系	1・2	数学 1				○
	1・2		数学 2				○	
	1・2		物理 1				○	
	1・2		物理 2				○	
	1・2		数理演習 1				○	
	1・2		数理演習 2				○	
1~4	バイオエンジニアリング					○		
1~4	ケミカルエンジニアリング					○		
保健体育	1・2	スポーツ総合演習	○					
基盤科目	留学生科目	1~4	日本語 1					○
		1~4	日本語 2					○
		1~4	日本語 3					○
		1~4	日本語 4					○
		1~4	日本文化論	○				
		1~4	日本の工業技術	○				
		1~4	一般数学				○	

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する
専 門 科 目	学 部 科 目	1 デザイン文化論		○			
		2 建築と文化		○			
		2 サステイナブルデザイン		○			
		3 英語表現技術		○			○
		2 都市デザイン		○			
		2 アーバニズム		○			
		2 風土と建築		○			
		2 デザイン史		○			
		2 福祉工学		○			
		2 地図とGIS		○			○
		2 ランドスケープデザイン		○			
		2 都市・地域政策		○			
		2 環境工学		○			○
		2 テクニカルライティング		○			○
		2 数理統計学		○			○
		3 タウンマネジメント		○			
		2 マテリアルサイエンス		○			
	3 公共空間デザイン及演習		○				
	3 品質マネジメント		○				
	2 Design Basics in English					○	
	学 科 基 礎 科 目	1 導入ゼミナール（建築）		○			
		1 建築入門		○			
		1 造形スタジオ		○			○
		1 図形の技術		○	○		
		1 デザイン理論（建築）		○	○		
		1 デザインスタジオ1（建築）		○	○		○
		1 デザインスタジオ2（建築）		○	○		○
		2 デザインスタジオ3		○	○		○
		2 デザインスタジオ4		○	○		○
		2 建築気候		○			○
		2 建築のしくみ		○	○		
		2 建築計画1		○	○		
		2 建築計画2		○	○		
2 西洋建築史			○	○			
2 建築生理心理1			○			○	
2 建築生理心理2			○			○	
2 空調調和設備		○			○		
2 給排水・電気設備		○			○		
2 平面の力学		○			○		
2 骨組の力学		○			○		
2 建築材料		○			○		
2 材料の力学		○			○		
2 部材の力学		○			○		
2 構法スタジオ		○	○		○		
2 建築の空間と形態		○	○		○		

ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する
学 科 目	3	インターンシップ(建築)		○	○		○
	3	建築フォーラム		○	○		
	3	建築法規(建築)		○	○		
	3	デザインスタジオ5		○	○		○
	3	デザインスタジオ6		○	○		○
	3	建築論・建築造形論		○	○		
	3	都市計画		○	○		
	3	日本建築史		○	○		
	3	フィールドワーク(建築)		○	○		○
	3	近現代建築史		○	○		
	3	都市史		○			
	3	音・振動環境		○		○	
	3	光・視環境		○		○	
	3	環境生態学		○		○	
	3	設備デザイン基礎		○	○	○	
	3	建築設備総合デザイン		○	○	○	
	3	構造とマトリクス		○		○	
	3	構造計算プログラミング		○		○	
	3	空間の構造デザイン		○		○	
	3	鉄筋コンクリートのデザイン		○		○	
	3	鋼のデザイン		○		○	
	3	材料のデザイン		○		○	
	3	構造デザインの実践		○	○	○	
	3	建物の振動と耐震化		○		○	
	3	建物の耐力		○		○	
	3	建築の地盤力学		○		○	
	3	構造実験		○		○	
	3	デンタルスタジオ		○	○	○	○
	3	材料特性実験		○		○	
	3	施工管理		○	○		
	3	木造建築の構法		○	○		
	3	建築生産		○	○		
	3	建築の測量実習		○		○	
4	デザインスタジオ7		○	○		○	
4	卒業研究1(建築)		○	○	○	○	
4	卒業研究2(建築)		○	○	○	○	
4	卒業設計1		○	○		○	
4	卒業設計2		○	○		○	